

うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。
問 まちづくり支援課 ☎82・3910/IP ☎88・9094

1 新型コロナウイルス 感染予防対策事業！

伊那佐地区まち協

現在、世界中で感染拡大が続いている「新型コロナウイルス」により、多くの活動が制限されています。まち協の事業においても活動の縮小や中止するものも多くなっています。地域住民の方々も日頃より感染予防や拡大防止にご協力をいただいています。各家庭内での消毒液の活用が少ないとの意見がありました。そこで、まち協では「我が家に新型



▲地区別セットとラベル貼り作業

コロナウイルスを持ち込まない」「家に戻ればプッシュ」をスローガンに伊那佐地区全戸に消毒液の配布を決めました。

1月下旬に久我会長をはじめ役員が中心となり、まち協事務所での消毒液のラベル貼りや地区別の配布セット作りを行い、国内で緊急事態宣言が出された2月に配布しました。

まずは「安全な家庭」「安心して暮らせる地域」を目指し、感染予防対策



▲まち協のラベルを貼った消毒液

策を一緒にお願ひしたいと思っています。そして当地区だけでなく、今年中には日本全国で新型コロナウイルスが終息して穏やかな日常が戻ってくることを心から願っています。

2 早春の訪れを告げる 葎焼き

向測地区まち協

1月31日、室生向測地区の南部にある龍王ヶ測に約30人が集まり、昨年12月に刈り払った葎の枯れ草を焼却しました。

地域の消防団員をお願いして、火



▲消防団による火災防止の放水



▲風向きに注意しての作業

災害防のために周囲に放水をしてもいいました。その後、山下会長がこの日の作業手順などを説明し、刈り取られた葎をかき集めて枯れ草の小山を幾つも作りました。枯れ草以外への類焼や周囲への延焼を防ぐ準備が整った後、風下から枯れ草に点火をしました。火が入れると、オレンジ色の炎が立ち上がり白い煙があたり一帯を包みしました。褐色の草原は次々と黒色へ変化して、作業前とは異なる風景となりました。たまたま冬の龍王ヶ測の風景を楽しもうとしてこられた人は、「このような風景は初めて見た」とカメラを手にして熱心に見入っておられました。

葎焼きは、病害虫の駆除や湿地の保全などの効果があり、湿地の樹林化も防げると言われています。春、

葎原に新緑の芽が生えそうと、再び神秘的な測に生まれ変わっていくことでしょう。

「向測」の名の由来や、「履ぬぎ池の童子」の伝説にもなっているこの測の環境を守ろうと、毎年この時期に作業を行っています。

3 次回をお楽しみに！

真冬の林業体験

菟田野まち協

1月16日に開催予定の「真冬の林業体験」は、13日に関西三府県にも緊急事態宣言が発表されたことにより、中止を決定しました。



▲今回のポスター

最後まで開催に向けての準備を進めていましたが、委員会での協議の結果、残念ながら中止と判断しました。

この催しは、例年通り9月ごろから、内容や日程、予算等を協議しながら準備を進めていました。また、10月下旬にはポスターやチラシの配布を行い参加者の募集も行っていました。

今回は、コロナ禍の中での開催で、



▲当日準備をしていた賞品や記念品の一部

条件付きの募集(家族単位・マイカーでの参加)を行ったこともあり例年より少ない、10組22人の応募をいただいていた。次回開催のころには、世の中が元気になって子どもたちの歓声が山の中で響きわたっていることを願っています。今後も楽しく体験いただけるような催しを計画していきます。

まち協などの催し予定 3月

(2月15日現在)

日	曜日	イベント案内	主催
毎週金曜日		榛原駅前 UDA OPEN STYLE 『かなえば』	榛原地区まち協
28	日	アマゴ釣り大会	田口地区まち協



ハトムギ

ハトムギの薬効の基本は、皮膚や粘膜の血流、リンパ液の流れをよくする働きです。そのため皮膚に酸素や栄養成分を含む血液がよく行き渡ると同時に、シミや老化の原因となる老廃物を運び去ります。その結果、皮膚の新陳代謝が活発になって、肌は美しい状態に保たれます。また、ハトムギには尿の出をよくする利尿作用があります。これも体内の余分な老廃物を排泄する働きです。さらにハトムギに含まれている豊富な食

物繊維にも注目しなければなりません。便秘になると腸に老廃物がたまり、肌荒れや吹き出物の原因になります。食物繊維は腸の働きを活発にし、便秘を解消してくれます。このような体全体の代謝を増強するハトムギは、「よくいんにん」として中国最古の薬物書である神農本草経に記載されており、古くから知られている生薬です。ハトムギは夏から秋にかけて花穂を着け、あとに暗褐色、楕円形の種子を結びます。



▲内服するだけでなく、美肌づくりやイボ取りなどの場合に外用薬としても使える。
※当市で「薬草活用講演会」をしていたいた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

薬草逍遙(やくそうしやうよう) 毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けするコラムです。

問 商工産業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075